RIDA スクリーン FAST アフラトキシン M1

【商品コード:4119PF】

牛乳および乳の粉末の中のアフラトキシン M1 の定量分析のための競合酵素免疫測定法

アフラトキシンは、カビの一種である糸状菌類 *Aspergillus parasiticus* および *nomius* が産生する極めて毒性の高い代謝産物です。アフラトキシン M1 はアフラトキシン B1 の代謝物で、アフラトキシン B1 を含む飼料を与えられたウシの乳に見られます。アフラトキシン M1 は低温殺菌に対して比較的強く、通常の原乳ばかりではなく最終製品の検査も必要です。

規格及び試験方法

・フォーマット:

48 ウェル(8ウェルストリップ×6本)のマイクロタイタープレート

・標準液:

0、250、500、1000、2000 ng/kg (ppt)

・試料調製:

乳 : 脱脂
粉乳: 溶解と脱脂

・インキュベーション時間:

15 分

・検出限界(LOD):

＜367 ng/kg (ppt)

関連製品:

・EASI-EXTRACT アフラトキシン【50 本入:4165P、10 本入:4164P】
・アフラプレップ M【4163P】
・RIDA スクリーン アフラトキシン M1【4119P】

★取扱説明書、試料調製、その他 資料ご希望の方は、ご遠慮なくアヅマックス㈱にお申し出ください。

r-biopharm
アヅマックス株式会社
http://www.azmax.co.jp/
E-mail : sales@azmax.co.jp

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312

RIDA スクリーン FAST アフラトキシン M1

【商品コード：4119PF】

抽出、濾過と試験の手順

(注 ： ストリップ 4 本以上を一度に使用しないでください。)

① 脱脂するために、乳試料を 10℃、3500×G で 10 分間、遠心分離。
得られた上部クリーム層をパスツールピペットで完全に取り除く。
1ウェル当たり脱脂された乳 50 μL を用いて試験。

② 試験するのに十分な数の標準および試料用のウェルをフレームに挿入。

③ 標準液および調製された試料液各 50 μL を
それぞれ別のウェルに 50 μL ずつピペットで滴下。
各標準液および試料液で別々の新しいピペットチップを使用。

④ 酵素複合体液(赤キャップ)を各ウェルに 50 μL 加える。

⑤ アフラトキシン M1 抗体液(黒キャップ)を各ウェルに 50 μL 加える。
10 分間、室温でインキュベート。

⑥ ウェル中の液体を捨て、マイクロタイターストリップをフレームに入れたまま吸水紙
(ペーパータオルなど)に 3 回連続して叩きつけ、ウェルの液体をよく除く。
すべてのウェルに 250 μL の洗浄バッファーを満たし、同様に液体を捨て、
吸水紙に叩きつけ液体を除く。この操作を2回以上繰り返す。

⑦ 基質/色原体(茶色キャップ)を各ウェルに 100 μL 加える。
5分間、室温(暗所)でインキュベート。

⑧ 反応停止液(黄色キャップ) を各ウェルに 100 μL 加える。
よく混合して、エアーブランクで 450 nm の吸光度を測定。

r-biopharm
アヅマックス株式会社
http://www.azmax.co.jp/
E-mail : sales@azmax.co.jp

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312